

# 飯南

## いいなん

- 平成22年度 飯南町予算
- 一般質問
- 常任委員会報告
- 飯南町への想い（寄稿）

**飯南町議会** 島根県飯石郡飯南町下赤名890番地  
飯南町議会事務局 TEL:0854-76-2190 FAX:0854-76-2867

第21号

平成22年4月20日



### 小学校から笑楽校へ

閉校となった旧谷小学校が改修され、「谷笑楽校」と名を変えて誕生しました。4月11日に地域の方や関係者を交えて開校式が行われました。昔の佇まいを残す懐かしい木造校舎は当時のまま、かつての教室は谷自治振興会の事務所や飯南神楽団の活動拠点として利用されます。来場者は歴代の卒業写真が飾られた教室を懐かしそうに見て廻られ、子供たちの笑い声や話し声が聞こえてきそうな過去へのタイムスリップを楽しんでおられました。

3月定例会は、3月8日から3月23日までの16日間の日程で開催しました。

### 3月定例会で可決された主な議案は次のとおりです

#### 条例関係

飯南町名誉町民条例の制定  
飯南町ふるさとの森の設置及び管理に関する条例の制定  
飯南町定住及び雇用促進条例の一部を改正する条例  
など二十三件

#### 補正予算

平成二十一年度飯南町一般会計補正予算（第八号）  
など六件

#### 予算

平成二十二年飯南町一般会計予算など九件

#### その他

飯南町の辺地に係る総合整備計画  
谷笑楽校の指定管理者の指定  
ふるさと回帰館の指定管理者の指定  
農林産物直売所の指定管理者の指定の四件

#### 議員発議

飯南町議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例など五件

	現 行	改 定
議 長	298,000円	268,000円
副議長	246,000円	221,000円
委員長	215,000円	195,000円
議 員	205,000円	185,000円

一般会計予算は  
73億7,575万円

平成22年度  
飯南町の予算総額は

# 99億8,131万円

各 会 計	予 算 総 額
一 般 会 計	737,575万円
特別会計	
国民健康保健事業	77,797万円
老人保健事業	21万円
後期高齢者医療事業	15,701万円
介護保険サービス事業	3,100万円
簡易水道事業	30,976万円
下水道事業	39,439万円
住宅新築資金等貸付事業	125万円
飯南町病院事業	93,397万円
合 計	998,131万円

### 議員報酬減額

引き続き  
議会議員に対する減額支給が  
4月より引き続き実施されます。

引き続き

#### 請 願

日米FTA交渉は行わないことを求める請願  
(請願者)  
島根県農民運動連合会

会 長 長谷川 敏 郎  
紹介議員 伊 藤 好 晴  
(審査委員会)

教育経済常任委員会 不採択  
(本会議)

採 択

#### 陳 情

安心・安全な公共事業を推進するため、国土交通省の事務所・出張所の存続を求める意見書の採択について  
(陳情者)

国土交通省全建設労働組合  
中国地方本部執行委員長

末 永 敦  
国土交通省管理職ユニオン  
中国支部執行委員長  
川 崎 義 夫  
(審査委員会)

教育経済常任委員会 継続審査

産地確立交付金の廃止により、農業生産法人等の担い手をはじめ農業者が被る不利益に対する激減緩和措置を求める要請  
(陳情者)

頓原集落宮農組連絡協議会

会 長 渡 部 國 雄  
赤来集落宮農組連絡協議会

会 長 松 田 栄 次  
赤来農作業受託協議会  
会 長 上 田 征 吾  
(審査委員会)

教育経済常任委員会 継続審査

核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書の決議について  
(陳情者)

平和市長会議会長

広島市長 秋 葉 忠 利  
平和市長会議副会長

長崎市長 田 上 富 久  
(審査委員会)

総務厚生常任委員会 採 択  
(本会議)

採 択

外国人地方参政権付与法案に慎重な対応を求める意見書採択について  
(陳情者)

自由民主党島根県支部連合会

幹 事 長 洲 浜 繁 達  
政調会長 岡 本 昭 二  
(審査委員会)

総務厚生常任委員会 採 択  
(本会議)

採 択

幼児教育の無償化と保育サービスの充実を求める意見書採択について  
(陳情者)

自由民主党島根県支部連合会

幹 事 長 洲 浜 繁 達  
政調会長 岡 本 昭 二  
(審査委員会)

総務厚生常任委員会 採 択  
(本会議)

採 択

※採択された請願・陳情は、本会議で意見書を議決し、関係機関へ送付しました。



### 緊急経済対策の用途は即効ある事業に使用



案事項に対応しました。平成23年度からは、地方交付税が減少することを念頭においた財政運営となります。産業振興は、農業を中心として、環境、健康との複合産業化を進め、関係分野を一体的に進めるため、産業振興課を設けたいと考えたところです。

昨年、議会は群馬県の川場村を視察研修しました。「農業+観光」をキャッチフレーズに集中投資がされ、流入人口70万人以上、そこには自主自立の精神が貫かれており、感銘を受けました。本町では、緊急経済対策交付金が、いわゆる総花的に使われたと思います。これが本町の将来への投資や活性化につながる手法なのか。

山崎 英樹町長  
昨年の緊急経済対策交付金は、本町の経済状況や今後の財政運営を考えて、町内商工業者や農家に即経済的な効果がある事業、公共施設の改修、各種団体等の懸

## 3月定例会 町政を問う 一般質問

### Q 広告で財源確保を A 即検討したい



安部 誠也議員  
平成22年度の町税の見込み額は、前年比2.8%減、歳入全体のわずか6.6%です。財政の健全化には、歳出の見直し、削減と歳入の増加を図る必要があります。注目されているのが広告事業です。



有料広告掲載に関する基準を策定し、町のホームページや広報誌、封筒などに有料広告を募集・掲載し、少額でも財源確保に努めるべきです。職員も自ら稼ごうという意識改革にも繋がると考え

山崎 英樹町長  
新町発足当時、広告掲載を検討しましたが、見送った経緯があります。先行している市町村の実態調査を行いながら、財源確保、意識啓発の面からも、基準を定めて即検討します。

飯南町のホームページ

### 農政転換への対応は制度に早く対応

瀧尻議員

政権交代により、小規模農家を含め、意欲ある農家が多様な農業経営が展開できる農政へ転換しました。小規模であつても、農業を探索し技術を磨き、そして地域の農業指導もできる人材は財産です。

集落営農の推進が図られてきた現実の中で、個人と集団を、今後どう整理して本町の農業を展開していくのか。

### 地球環境問題の取組みは庁舎内で実施

安部議員

地球環境問題に対する本町の認識「地球温暖化防止計画」など、これまでの取組み状況や今後の取組みは、併わせて「飯南町地域エネルギービジョン」が策定されていますが、策定後における具体的実施状況と温室効果ガスの削減効果は。

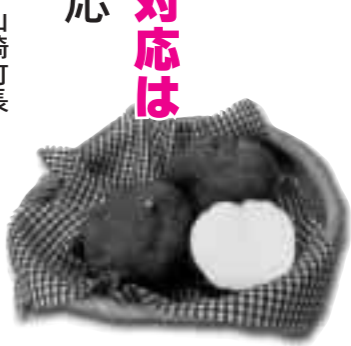
山崎町長  
平成17年度を基準年としてから平成22年度までに5%削減を目標に取組んでいます。庁舎の実行目標はゴミの削減、再生利用、再使用などの推進を行っています。その結果、庁舎でのCO2の削減数値は率にして60%弱の減になりました。地域エネルギービジョンの実施は、太陽光発電を2つの小学校に導入して、頓原庁舎に薪ボイラーを導入しました。

### 分庁方式の見直しは別委員会で検討を



瀧尻議員

町長は「新たな行革委員を委嘱し、これまでの検証と今後の検討をお願いした。さらなる改革には現況の分庁方式を見直し、事務の効率化を図る必要がある」と具体的な検討を始めた。と昨年と同様な発言がありました。分庁方式のあり方をどう考えているのか。



山崎町長

小規模農家の位置付けは不明確ですが、国政と農家の間に立ち、激変に対応します。

町内の農家個々をみれば、優れた技術を有した方がおられます。それを地域で伝承していくことが集落活性化につながると思います。また、将来の本町農業や集落維持、良好な農地の保全・活用に向け、国、県の制度を選択的に活用します。

山崎町長

昨年9月に新たな行革推進委員を任命し、行政内部事項を検証しながらに検討をお願いしましたが、庁舎については、検討の着手に至っていません。平成22年度から別な委員会を設置し、具体的な検討を始めます。

### 積極的な排出権取引を都市部へ働きかける

安部議員

わが国は温室効果ガスを1990年比で6%減らす計画です。

森林が90%以上を占める本町は、CO2の吸収源という資源を持っており、バイオマス・エネルギーを生産できる環境もあり、この受け皿となり得ます。

さらに、都市部の自治体や企業へ足を運び、排出権取引を起爆剤に森林整備の増加、地域産物の販路の拡大などによる雇用の拡大クレジット(外貨)の獲得で自主財源の増加を図る考えは、そのために、県の認証制度などを活用すべきだが、また、

町総合振興計画の後期計画に盛り込む考えは。

山崎町長

今後制定される島根県の認証制度を有効に活用して森林資源の管理整備を進めるなど、町の活性化に大いに利用していきたいと考えます。

自治体や企業訪問する際にも話題に挙げておりますが、実現には至っておりません。積極的に都市自治体などへ働きかけをします。町総合振興計画には、町の政策、振興にとって有効なものですので、是非とも進めて行きます。

## Q 耐震化の取組みは A 計画策定を行って



伊藤 好晴議員

改正耐震改修促進法では平成27年までに90%の耐震化を達成するように自治体に求めています。本町は手付かずだと思っています。住宅リフォーム助成制度を導入した自治体もありますが、本町でも取り組むべきでは。

山崎 英樹町長

現在、計画の策定を行っています。具体的な対策は、どのような支援措置が可能か考えていきます。

## Q 女性のがん予防対策を A 意識啓発を図る

伊藤議員

子宮頸がんは、ワクチン接種により予防が可能ですが、助成の導入を検討する考えは、健康率を高めるためには、周知活動と保健指導につき

早期の接種が効果的といわれています。

本町でのワクチン接種への助成は、今後の課題とします。

受診率を高めるために、保健師1名を配置し、地域に出かけて意識啓発を図ります。

また、飯南病院はマンモグラフィー装置を設置してありますが、低年齢からの乳がん検診を実現する考えは、

山崎町長

子宮頸がんワクチンは10歳以上から接種が可能で、

現在の飯南病院の健診体制は手一杯の状態、乳がんの低年齢健診を増やすことは困難です。

雲南総合病院や島根県環境保健公社などの機関と協議します。

## Q 透析治療を飯南病院で A 現状では困難

伊藤議員

本町では、人工透析の通院補助としてバス賃を助成する制度がありますが、家族が仕事を休んで自家用車で送迎しているのが現状で、大きな負担となっています。

山崎町長

町内では三次へ7名、三刀屋へ5名、その他4名の通院があります。飯南病院での人工透析の実施は現状の医師体制と設備では困難です。

透析患者の通院状況の把握と要望の多い飯南病院での透析の実施についてどう考えているのか。

また、集団通院も可能と思うが、受入れ先病院と交渉して負担軽減に努める考えは、

集団通院については、医療機関と交渉、協議します。

# 3月定例会 町政を問う 一般質問

## Q 飯南高校の魅力作りを A 積極的に取り組む



長島 正一議員

飯南高校を取り巻く環境は非常に厳しく、2学級維持



が困難な状況にあるなか、行政や住民の努力により存続への取組がなされています。地元高校として、経済効果など現状をどのように評価しているのか。

安部 亘教育長

40人の生徒が町外に進学すると、3学年で年間1億800万円が流出することになります。また、教員の住民税や寮生の経済効果もあります。

さらに、高校が存在することによる地域の活性化効果も大変大きく、町の重要な財産だと考えます。

長島議員

当町には、生命地域宣言という崇高な理念と素晴らしい自然環境があり、全国注目の中山間地域研究センター

総合学科・中山間地域研究センターの活用などを観点として、今後設ける飯南高校魅力づくりプロジェクトにおいて検討していきます。

また、町が寄宿舎を建設することに對して、県教育長は一定の理解を示していますが、財政法など大きなハードルもあります。

生命地域飯南町として、環境や健康をテーマとした高校教育のあり方を念頭に、プロジェクトでの議論や、地元の熱意を通じて、飯南高校の発展と寮の増設に向けて頑張っていきます。

## Q 保育所民営化のあり方は A 指定管理と公営を共存

長島議員

飯南町行革推進委員会の答申をうけ、保育所検討委員会が設置され、民間へゆだねざるをえないとの答申がなされましたが、その経過と民営化する理由は、

ていますが、社協と協議しながら進めます。

運営方法の質の向上は現在の保育水準を維持しながら、さらに積極的な取り組みを行います。

山崎町長

合併効果を生かした町づくりを進めるために、行政改革の議論をしていただき、次世代に健全な財政を引き継ぐためにも、民営化は基本方針であり理念です。

指定管理者に対し、町の責任において指導や管理監督を行い、町の基本方針に従って運営していただきます。

少子化問題が重視されるなか、次の点を町長に問う。

◆保護者の負担軽減策は、国の基準に対し50%の負担軽減を行い、また国より細やかな所得段階を設け、所得に見合った保育料にしています。今後とも総合的に検討していきたいと考えています。

民営化の実施時期は

平成22年度中に方向性を定めます。

民営化の形態は

現在、指定管理施設と公営保育所を共存する考えです。指定管理者としては社会福祉協議会が最適だと思っ



飯南高校



桜ヶ台保育所

第2回定例会における採決の結果

件名	結果	安部朋次	小野覚	難波俊司	瀧尻行雄	伊藤好晴	永井章	長島正一	門眞一郎	安部誠也	石原敏郎	熊谷兼樹
飯南町名誉町民条例の制定について	可決											
飯南町企業誘致条例の制定について	可決											
飯南町ふるさとの森の設置及び管理に関する条例の制定について	可決											
飯南町ふるさとの森管理基金条例の制定について	可決											
飯南町谷笑楽校の設置及び管理に関する条例の制定について	可決											
飯南町ふるさと回廊館の設置及び管理に関する条例の制定について	可決											
飯南町農林産物直売所の設置及び管理に関する条例の制定について	可決											
飯南町定住及び雇用促進条例の一部を改正する条例について	可決											
飯南町課設置条例の一部を改正する条例について	可決											
飯南町職員定数条例の一部を改正する条例について	可決											
飯南町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	可決											
飯南町職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例について	可決											
飯南町非常勤の職員の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例について	可決											
飯南町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決											
飯南町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	可決											
飯南町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決											
飯南町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決											
飯南町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決											
飯南町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	可決											
町長及び副町長の給料の支給額の特例に関する条例の一部を改正する条例について	可決											
教育長の給料の支給額の特例に関する条例の一部を改正する条例について	可決											
飯南町病院事業の使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例について	可決											
飯南町職員の給与の支給額の特例に関する条例の一部を改正する条例について	可決											
飯南町の辺地に係る総合整備計画について	可決											
平成21年度飯南町一般会計補正予算(第8号)	可決											
平成21年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決											
平成21年度飯南町老人保健事業特別会計補正予算(第2号)	可決											
平成21年度飯南町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決											
平成21年度飯南町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決											
平成21年度飯南町病院事業会計補正予算(第5号)	可決											
平成22年度飯南町一般会計予算	可決											
平成22年度飯南町国民健康保険事業特別会計予算	可決											
平成22年度飯南町老人保健事業特別会計予算	可決											
平成22年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計予算	可決											
平成22年度飯南町介護保険サービス事業特別会計予算	可決											
平成22年度飯南町簡易水道事業特別会計予算	可決											
平成22年度飯南町下水道事業特別会計予算	可決											
平成22年度飯南町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決											
平成22年度飯南町病院事業会計予算	可決											
公の施設(谷笑楽校)の指定管理者の指定について	可決											
公の施設(ふるさと回廊館)の指定管理者の指定について	可決											
公の施設(農林産物直売所)の指定管理者の指定について	可決											

賛成議員 反対議員

第2回定例会における議員提出議案採決の結果

提出議案	件名	結果	安部朋次	小野覚	難波俊司	瀧尻行雄	伊藤好晴	永井章	長島正一	門眞一郎	安部誠也	石原敏郎	熊谷兼樹
発議第1号	飯南町議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例について	可決											
発議第2号	「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書(案)の提出について	可決											
発議第3号	外国人地方参政権付与法案に慎重な対応を求める意見書(案)の提出について	可決											
発議第4号	幼児教育の無償化と保育サービスの充実を求める意見書(案)の提出について	可決											
発議第5号	日米FTA交渉は行わないことを求める意見書(案)の提出について	可決											

永井 章議員は3月12日以後、欠席のため空欄です。

賛成議員 反対議員

町政を問う  
一般質問

山崎 英樹町長  
これまでの実績の整理をする、取り組みが薄い部分として、生活支援産業の育成・地区拠点機能の充実・協働のための仕組みづくりなどがあります。これらは引き続き後期計画に盛り込み取り組んでいきます。

安部 朋次議員  
平成18年度に飯南町総合振興計画を定め、5年間の前期基本計画が策定されています。



Q 総合振興計画の前期検証と後期策定は  
A 検証を踏まえて

山崎町長  
住民の不便など、今後必要となる生活支援サービスのニーズを調査し、必要なサービスを提供できる仕組みを作る実験をしました。

安部議員  
公共的なサービスを中心とした生活支援サービスの社会実験が本年2月に終わりますが、事業実績の検証と今後の取り組みは。

Q 生活支援サービスの今後は  
A 里山コミッションを窓口

山崎町長  
総合振興計画で四地区に地区センターを設置し、行政

安部議員  
分庁舎方式は、事務経費の拡大、事業運営などに弊害が出てきています。

Q 分庁舎方式の再検討は  
A 委員会設置で結論

機能の拠点として総合振興センターを位置づけています。本庁舎の整備については、今後検討委員会を設置し、検討を行い結論を出して行きたいと考えています。



頓原庁舎

赤名庁舎

## 教育経済常任委員会 委員長 小野 覚

### 売れる米作り事業 … 6,909万円

J A 精米施設整備への助成（5,000万円）・食味購入費（500万円）など、総額6,909万円の予算です。前年当初予算127万円に比べ大幅に増加しました。

担当課より、「飯南町産米の全体を高く売ることと、区別してより高く売ることの2通りを考えている、玄米販売は安いので精米して有利販売する、米と野菜のセット販売」などの考えが示されました。

委員より、「全国食味大会に参加するならモデル水田を作るべきだ」、「農産物をトータルとして捉える中で米販売を考えよ」、「総合振興計画の後期計画に農業全体を売って行くことを盛り込め」など、活発な提言をしました。

### ヤマトイモ推進事業 … 1,154万円

ヤマトイモ生産組合貸付金790万円・同組合補助金151万円など、総額1,154万円の予算です。

委員会の総意として、「生産組合貸付金は実行されてはいるが生産意欲を失わせかねない現状にある」ことを確認しましたので、生産意欲を喚起すべき本来の目的に沿うよう『申し入れ書』を町長に手交し、早急に改善を図るよう求めました。

### 森林セラピー推進事業 … 2,483万円

旅行業開設事業1,100万円・森林セラピー事業運営委託料901万円など、総額2,483万円の予算です。

執行部より、「旅行業開設など森林セラピー推進にむけ前進してはいるが、一方で、この事業と一体である『ふるさとの森施設整備事業（1億92万円）』が大幅に遅れる」との見通しが示されました。

委員会としては、事業全体を早急に見直したうえで事業推進を図るよう申し渡しました。



ふるさとの森

## 総務厚生常任委員会 委員長 瀧尻 行雄

### ふるさとの森設置及び管理に関する条例

島根県から取得した「県民の森」を飯南町ふるさとの森として維持管理し、この施設を観光資源として地域振興に活用するため、設置管理条例を制定するものです。

施設の改修が完了すれば、現在の森林セラピーをさらに進め、予防医療の分野への取り組みも考えられています。

### 飯南町の辺地に係る総合整備計画

#### ①移動通信用鉄塔設備の整備

携帯電話等の利用可能な地域の拡大を図り、不感地域の解消に努め、住民・通行者等の利便性向上及び、災害・緊急時の通信手段確保を図るためのものです。

移動通信用鉄塔は下来島、獅子、八神、志津見、角井地区に設置され、これらの地域の通信感度は飛躍的に向上します。

#### ②観光レクリエーション施設の整備

都市住民の田舎暮らしへの憧れが高まる中、クラインガルデンは常に満室状態です。

現状の解消を図るため、ラウベの増設を行いニーズに応えます。

また、国道184号沿線の観光施設は、交流拠点としての役割を果たしており、志津見ダムの完成により、さらに利用客の増加が見込まれています。

これに対応するため、うぐいす茶屋の増築及び、やまめの溪管理棟の拡充を図ります。

### 平成22年度飯南町国民健康保険事業特別会計予算

飯南町の国保会計における一人当たりの医療費は島根県下で高いほうから2番目、国保料は低いほうから2番目と成っています。この現状をふまえ、「健康（まめ）な飯南21」計画の中で日本一健康なまちを目指した取り組みが進められています。

しかし、現在の医療費水準が続くようであれば二年以内に基金は枯渇し、インフルエンザ等の流行に対応できなくなる恐れがあります。家計が厳しいことは十分承知していますが、やむなく10%の値上げをすることにしました。

### 平成22年度に実施される投資的事業 … 16億885万円

平成21年度繰越事業と平成22年度当初予算中の投資的経費は16億885万円に上ります。

主なものは泉川団地へ定住促進住宅の建設、県民の森研修館改修工事、道路事業、災害復旧、簡易水道工事等です。

これらの投資が目的を達することで、お金の町内循環を生み、経済効果により、現状の不況感からの脱却がなされることを期待します。

## 討論

平成21年度  
一般会計補正予算第8号

### 【反対討論】

伊藤 好晴

ふるさとの森に関する補正は、県民の森の一部を県が飯南町に押しつけたもので後世に負担を残す。また、緑の分権改革推進事業は、初年度のみ補助金で無責任な事業だ。以上の理由で反対する。

### 【賛成討論】

石原 敏郎

県民の森は先代の努力により一連の町づくりとして設置された背景がある。その一部を取得し、ふるさとの森として町一丸となった有効活用を確信し賛成する。

平成22年度 一般会計予算

### 【反対討論】

伊藤 好晴

米販売に関する予算など評価する内容もあるが、児童福祉から撤退する案件・不公平感を生む指定管理料・目的通りに使われていないヤマトイモ推進事業費などがあり、町民の暮らしや安全を守る予算となっていない。

### 【賛成討論】

石原 敏郎

予算の一部が駄目なら全部が駄目だという伊藤議員の姿勢は無責任。現実と理想の狭間を埋めるのが政治の役割だ。トータルで眺めたとき、一生懸命頑張ろうという意欲が出る予算になっている。

平成22年度国民健康保険  
事業特別会計予算

### 【反対討論】

伊藤 好晴

平成22年度の保険料負担を10%引き上げるとは、町民に苦しみを押つけるものだ。これは保険料滞納を産む原因にもなり容認できない。

### 【賛成討論】

石原 敏郎

国保会計における一人当たり医療費は県下で2番目に高く、保険料負担は県下で2番目に低いという状況であり、保険料を上げざるをえない。滞納問題などは違う観点で考えるべきものだ。

飯南町企業誘致条例

### 【賛成討論】

石原 敏郎

飯南合併協議会を通じ、一町民としてこの条例について発言してきたが、ようやく制定の運びとなった。今後は弾力的に条例を運用し、有意義な企業誘致できようことを切望し、賛成する。

# 寄稿 飯南町への想い

## 「飯南町に住んで」

飯南町下赤名 倉橋 照勇



私がイターンとして飯南町に来て、森林組合で働き始めたから丸十一年が経ちました。アツと言う間でとても早く感じています。初めは三年もつか心配でしたが、周りの人達のおかげで、大きな怪我もなく、元気に頑張っています。その間、結婚をして二人の娘にも恵まれ、幸せな日々を過ごしています。近年では、自治会の役にも就かせてもらい、先輩方のご指導を頂きながら頑張っていますが、なかなかうまくいかずご迷惑をかけていることと思います。

山に入ると、四季の移り変わりがよく分かります。木々には新芽が芽吹き、山桜が咲き始め、飯南町に遅い春がやってきました。



長女の入学式

私は、五月の新緑がとても好きで、飯南町の新緑は本当にきれいだと思います。雪景色も良いのですが、未だに寒さと雪には慣れることができません。

これからも「もり」として飯南町の山々を守り、今の美しい緑を娘達の世代にも受け継いで行けたらと思っています。



## 私の信条

### いつも疑問をもって

伊藤好晴



合併して5年あまり、この間500人以上の人口が減りました。おおよそ割減ったことになり、寂しい限りです。過疎に歯止めがかかり、活力ある発展ができるように、産業振興、特に稲作での収益増と、保健・福祉の充実が一番大切との思いで活動しています。私の活動の原点は、①みなさんの声をよく聞き、②議会のあるごとに発言し、③活動内容をお知らせする、この3点にあります。議案の審議にあたっては、いつも疑問を持って接するよう心がけています。良いことは前へすすめ、悪いと思うことは中止・改善を迫る。住民の立場に立つて行政を監視することが重要と考えています。住民の代弁者として、みなさんのご意見を大切に、健康で活力あふれる住みよいまちづくりのために努力します。一層のご指導をお願いします。

## 編集後記

国政は22年度の本予算も成立し、今後の政局へと展開してきましたが、いまだに沖繩の基地問題も先が見えない状況の中、夏の参院選挙に向けて民主党、自民党内に大きな問題を抱えている現状であります。

さて、3月議会も新年度の予算が議決され、4月から執行されます。特産物のブランド化や定住、交流をより進めていくために、課の統合、新設が行われました。行政も新たな思いで事業を進められることに、今後期待をいたします。

議会に於いても議会活動をよりいっそう活発化するため、一般質問に一問一答方式を取入たり、常任委員会の傍聴ができるなど議会の改革がおこなわれました。しかし議員自らが研鑽し、今後の議会運営をどう進めていくのか、全議員が自覚を持つことが大事であります。

住民の皆様に見える議会として、努力をし、本町の発展、活性化に全力を尽くして参りますので、尚一層のご支援をお願いいたします。

議会広報編集委員会

安部朋次